



×



映画24区

映画を見て考える。 “自分”とは？ その“表現方法”とは？

経済学部講演会

- 日時：2013年11月25日（月）4時限目（15:10～16:40）
- 場所：大学図書館ホール（西宮上ヶ原キャンパス）
- 申込：不要
- 講師：右記で紹介
- 内容：藤澤監督作 映画『嘘々実実』上映会（30分程度）
講師の方々とのセッション（60分程度）
※ 詳細は経済学部HP、経済学部FBで紹介

<開催の狙い>

単なる講演会・映画上映会ではない。関学卒で映画監督、プロデューサーとして活躍中の講師と一緒に、映画という媒体をとおして、“自分とは何か”“自分を表現すること”の大切さを、難しさを考えていただきたいと思います。

大学卒業後の姿を想像することは難しいですが、卒業後、映画の世界に飛び出し、映画監督として、プロデューサーとして活躍中の講師の“活力”をご覧ください、学生皆さんが持っている可能性を認知してほしいと思います。就職活動前の学生はぜひご参加ください。



<三谷 一夫（みたに かずお）・映画24区代表>

関学経済学部卒。卒業後就職したメガバンクで映画製作会社の支援を担当。その後、自らその映画製作会社に移り、経営に携わり、日本の映画界の問題を客観的に見つめてきた。現在は、映画の企画・製作や映像を活用した地域プロデュースを行う株式会社映画24区（東京都）代表。映像教育にも取り組む。



<永田 琴（ながた こと）・映画監督>

関学商学部卒。卒業後映像制作に興味をもち、ドラマCM等で制作、助監督を務める。『恋文日和』でデビュー。資生堂主催「スクリーンのなかの銀座」で、『WOMAN』出展。その他、東野圭吾『分身』（長澤まさみ主演）、ワコールWEB短篇連載『下着にまつわる物語』など。子どものコミュニケーション能力の向上を目的に、子ども映画ワークショップ「えいがっこ！」を主催するなど、多岐にわたる活動中。



<藤澤 浩和（ふじさわ ひろかず）・映画監督>

関学社会学部卒。大学在学中から自主映画を制作。卒業後『パッチギ！』（監督：井筒和幸）にボランティアスタッフとして参加。助監督として崔洋一、金子修介など多くの監督のもとで経験を積む。文化庁若手映画作家育成プロジェクトで35mmフィルム作品『嘘々実実』を監督。最新作『砂をつかんで立ち上がり』が現在公開中。

http://www.kwansei.ac.jp/s_economics/

<https://www.facebook.com/economics.kwansei>